

## 東京大学訪問研修

8月29日(月)に、1・2年生の希望者36名が参加して東京大学訪問研修を実施しました。

今年度は、教養学部がある駒場キャンパスを訪問して東大の学生と懇談した後、隣接する生産技術研究所にある土屋健介先生の研究室を見学しました。

東大生との懇談は、本校卒業の東大生以外に、地方出身の高校生が東大を目指すことを支援している学生サークル「FairWind」のメンバーにもお願いしました。

まずは、「FairWind」のメンバーによる高校時代の学習についてのプレゼンテーションがありました。皆、普通の公立高校から東大に進学した人ばかりです。もちろん、部活動や学校行事にも熱心に取り組みました。忙しい生活の中、どのようにして時間をやりくりしたのか。そして、勉強する上で大切にすることは何かなど、貴重なお話をうかがいました。その後、本校卒業の東大生も交えてのワークショップを行い、参加した生徒たちが自分の学習方法を見直しました。生徒たちは皆、「忙しさ」を言い訳にして十分に学習に取り組めていないこと、学習に対する意識が低かったことに気付き、それらを克服した学習方法を見出していました。一緒に昼食をとって親密さを増した後で、学習だけではなく、東大での学生生活など全般についての質問を受けてもらいました。本校卒業の東大生も、後輩のために熱心なアドバイスをくれました。



FairWindの皆さんとの記念写真



楽しく、熱心に話を聞きました

その後、生産技術研究所へ移動して土屋研究室を見学しました。土屋研究室では、マイクロメートル、ナノメートルといった極々小さな世界で加工する技術を研究しています。1ミリの立方体に収まる大きさのプラスチック製の家であるとか、高さ0.3ミリの五重の塔などを見せていただきました。なぜ、小さな物を作るのかというと、「小さなものを作ることで、これまでできなかったことを可能にできる」からです。例えば、細胞内の染色体を切断し、その断面を観察することによって構造を明らかにするという事です。先生は、講義の中で繰り返し、「将来は一緒に研究しよう」と呼びかけてくださいました。将来、本当に土屋先生と共同で研究できる生徒が出てくれば素晴らしいと思いました。

東京大学の魅力は、1日だけではとても知ることができないものですが、短い時間の中でその魅力の一端を知ることができた研修会となりました。これを機会に本気で東京大学を目指す生徒が多数現れてくれることを期待したいと思います。

最後になりますが、土屋健介先生、FairWindの皆さん、有意義な機会を提供していただき本当にありがとうございました。



土屋先生の講義です



五重塔が肉眼で見えるかな